

(23) 心のバリアフリー、ユニバーサルデザインの普及啓発事業

【プロセス評価】

※具体的な意見の凡例 (○: 良い意見 / ●: 問題の指摘等に関する意見 / ◇: その他の意見)

■意見収集

1. 本施策について、高齢者、障がい者、子育て世代を含む市民意見を聞く機会が設けられていると感じますか。						
十分感じる	感じる	あまり感じない	全く感じない	設ける必要を感じない	評価できない	計
0	8	4	0	1	0	13
<p>○ユニバーサルデザイン周知の努力は感じる。</p> <p>●職員や小学生を対象とした研修を実施している点は評価できるが、定期的を開催したり回数を増したりするなど、より多くの方からの意見収集が望まれる。</p> <p>●子育て世代からのアンケート等の回答が少ないように思う。</p> <p>●より多くの方の意見を聞く機会を増やす必要がある。</p> <p>◇新人職員研修のプログラムや出前講座の企画立案について、協議会メンバーや当事者グループなどと意見交換が行われていると高く評価できたと感じる。</p>						

具体的な意見

■意見反映

2. 本施策について、高齢者、障がい者、子育て世代を含む市民意見が反映されていると感じますか。						
十分感じる	感じる	あまり感じない	全く感じない	反映する必要を感じない	評価できない	計
0	5	6	2	0	0	13
<p>●困っている人がいたら声がかけているが、精神障がい者への対応がない。</p> <p>●アンケートだけで具体的な意見が拾えているのか不明。</p> <p>●心のバリアフリーの定義があいまいなのが残念。</p> <p>●回答人数が少ない。</p> <p>◇学校教育や市民講座等の活用で、「意見の反映」が効果的に伝わると思う。庁舎内の職員研修も大事と思う。</p> <p>◇特に子育て世代の意見がわからないので、<u>将来を見据えて子育て世代、もっと若い世代の意見も聞いてほしい。</u></p>						

具体的な意見

(23) 心のバリアフリー、ユニバーサルデザインの普及啓発事業

■連携

3. 本施策について、福祉のまちづくり関係者を含む様々な関係者が連携できていると感じますか。

十分感じる	感じる	あまり感じない	全く感じない	連携する必要を感じない	評価できない	計
0	6	5	2	0	0	13

具体的な意見

○個別の事業については関係部署との連携／協力が行われていると評価しました。

○「色覚バリアフリー」に関する研修、カラーユニバーサルデザインの資料を研修に追加、オリパラのパンフレットへの助言等他部署との連携は進んでいると思う。庁内という枠を越えて町内会・自治会や民間事業者とのコラボ事業等があると良いのではないかと。

●小・中学校との連携がまだ少ないと思う。

●情報共有が弱いと感じた。

◇企業とも連携ができると、さらに理解が進むのではないかと。

◇ルールブックは市民にも公開した方がいいのではと思った。ホームページでは見つけにくいようだった。

■広報・PR

4. 本施策について、市民に広報・PRされていると感じますか。

十分感じる	感じる	あまり感じない	全く感じない	広報・PRする必要を感じない	評価できない	計
0	6	5	1	0	1	13

具体的な意見

○様々な努力されていると思う。広く市民等に「心のバリアフリー」を推進している市の姿勢が認識されてはいないと思う。市の特長とも言えるので、更に推進していただきたいと思う。

●努力は感じるが、多くの人に広まっていない。

◇市民アンケートの結果からそれなりに周知されているが、同じようなPRを続けているようなので、もう少し目先を変えたり、年度別に情報提供のターゲットを絞ったりするなど変化をつけた取り組みがあると広がりを見せるのではないかと。

◇様々な取組を進められているが、市民への広報・PRといった点での成果がさらに見えてくるとよい。

(23) 心のバリアフリー、ユニバーサルデザインの普及啓発事業

■工夫・改善

5. 過去の成果や既存の取組等を踏まえ、本施策について、工夫・改善されていると感じますか。						
十分感じる	感じる	あまり感じない	全く感じない	工夫・改善する必要を感じない	評価できない	計
0	9	1	1	0	2	13
<p>具体的な意見</p> <p>○工夫されていると思う。改善途中と思う。 ○仕組みはできていると思う。質向上を求める。 ●精神障がい者への対応がない。 ◇心のバリアフリーについての取り組みはいろいろ書かれているが、心のバリアフリーでどういう社会を目指すのかはどこに示されているのか。 ◇どういうことを目標とし、成果としているのか。そこがまだよく分からない。</p>						

■実績評価

6. 現時点での取組の成果（実績）は、満足できる内容ですか。					
満足できる	どちらかという満足できる	成果をあまり感じず、どちらかという不満である	成果を感じず不満である	評価できない	計
0	8	3	2	0	13
<p>具体的な意見</p> <p>○啓発事業としての出前講座は評価できるが、もう少し積極的、計画的に推進したほうがよいと思う。 ○担当部署では最大限良い方針を作っているが、他の部署に浸透されていないと思う。 ●努力は感じるがまだまだ不十分だと思う。他部署、他計画との連携を深めてもらいたい。研修等は教職員にも行ってほしい。今後の検討課題にあることを実施してほしい。 ◇ユニバーサルデザインの取り組みはいい。心のバリアフリーは定義があいまいなので、取り組みによってばらつきがあるのではという感じがする。</p>					

(23) 心のバリアフリー、ユニバーサルデザインの普及啓発事業

■効果評価

7. 取組の成果は市民から満足されていると感じますか。						
十分感じる	感じる	あまり感じない	感じない	まだ目に見える成果がない	評価できない	計
0	2	4	1	4	2	13
<p>具体的な意見</p> <p>○なかなか評価しにくいのですが、認知度は高くなっていると思う。 ○発表でも、努力されている様子を感じる。成果含め、これからと思う。 ●<u>取り組んでいることを市民に知られていない。</u> ●<u>市民の受け止めがわからない。</u> ◇学生の方々から周知しているということなので、徐々に意識が高まっていくものと思う。 ◇「普及啓発事業」であり、市からの発信が十分になされているかどうかの検証が引き続き必要と感じる。</p>						

9. 本施策に対する改善のアイデア・提言など
<p>※課題から改善が必要な点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者への対応に関心を持つこと。 ・心のバリアフリーは意味があいまい。町田市では人権をベースに考えるというような意味付けをしてほしい。 ・コミュニケーションの方法を色々知ることと、失敗を過度に心配しすぎないように教育してもらえたらと思う。 ・今後の検討事項からも課題は把握されていると思うので、より多くの関係機関と連携をとり、力をかりられるような関係を構築する必要がある。福祉総務課だけでは限界がある。
<p>※さらに良くするために行うべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>アウトカム、市民の受け止めを把握する努力が必要では？</u> ・現在と同様に多くの情報をキャッチして、日々の変化に対応した取り組みを期待します。 ・介護保険課・障がい福祉課又は高齢者支援センター、障がい者支援センター、障がい者団体等と連携して、小中学生向けの講座、或いは市民向けの講座を行っては。 ・具体的な状況に対して、正解・不正解でなく解決を考えるような取り組み。 ・情報発信事業と同様に、一方的な広報ではキャッチしてくれる市民が限られてしまうことから、アンケートなどの媒体を通じて、まずは認識してもらい、一緒に考えられる機会が作れるような仕組みがあったらよいと思う。

(23) 心のバリアフリー、ユニバーサルデザインの普及啓発事業

※その他

- ・ 出前講座や職員研修において当事者参加を前提としたプログラムになっているかどうかは重要だと思う。もし、そうになっていないのであれば、それを実践すべきと考えている。
- ・ 心のバリアフリーの冊子がどこで手に入るのかとよく聞かれる。HP へのアクセスは容易でも、そうした情報の存在を「知る」ためには、企業等と連携し、市民が足を運ぶ銀行や店舗等に冊子を置いてはどうか。
- ・ 精神障がい者への対応が置き忘れられている。
- ・ 地区協議会への働きかけ、委員にも入って頂く。もっと市民の力をかりられるようなイベントを考えてはどうか？また、何かイベントがある場合には地域で活動している障がい者団体、施設等に声かけをして、市民と障がい者がふれあえる機会を増やす等、橋渡しの役割も必要。